

I. 広東省

1. 反腐敗にかかる処分

- 19日午後、省紀律検査委員会は侯経能・惠州市人代副主任、彭建文・元河源市長を重大な紀律違反の疑いで調査中と発表（6月20日付『廣州日報』）。
- 21日、省紀律検査委員会は楊清仿・省放送テレビネットワーク株式会社副総経理を重大な紀律違反の疑いで調査中と発表（6月22日付『南方日報』）。

2. 第3ラウンド知的財産権協力協議・2017年業務会議の開催

- 19日、国家知的財産権局と省政府が広州市で上記会議を開催し、馬興瑞・省長、申長雨・国家知的財産権局長が出席するとともに挨拶を行なった。この会議で、両氏をはじめとする指導者たちは、国が知的財産権を運営する公共サービス・プラットフォーム・金融イノベーション（横琴）テスト・プラットフォームを共同でスタートさせた。これは金融イノベーションにかかる知的財産権の取引を行うための初の国家級プラットフォームであり、SNS、IP電子商取引、IP金融、ビッグデータ機能を集め、七弦琴国家知的財産権取引ネットと七弦琴アプリというクライアント端末を媒体とし、知的財産権による金融イノベーション、知的財産権の越境取引を特色とする暫定版の知的財産権のオンライン取引システムである（6月20日付『南方日報』、21日付『中国知識産権報』）。

3. 広東・香港・マカオ・ベイエリア・フォーラムの開催

- 20日、香港で上記フォーラムが開催され、袁宝成・副省長が出席するとともに挨拶を行なった。陳茂波・香港財政長官、梁維持・マカオ経済・財政長官、馬化騰・テンセントCEO、周其仁・北京大学国家発展研究院教授、樊綱・中国（深圳）総合開発研究院院長、李沢湘・香港科技大学電子・計算機工学部教授、鄭志剛・香港新世界発展有限公司副CEO、張磊・高瓴資本（ヒルハウス・キャピタル）CEO等が出席（6月21日付『南方日報』）。

4. 胡春華・省党書記、馬興瑞・省長がチベット自治区を視察

- 20日～21日、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長率いる党・政府代表団がチベット自治区林芝市を訪れ、ペアリング支援の進捗状況を視察。同自治区にかかる業務・支援に関する習近平・総書記の重要指示の精神を深く貫徹・実行し、第8陣となる支援業務に関する意見交換・マッチングを行なった。呉英杰・チベット自治区党書記、チザラ主席等も同行（6月22日付『南方日報』）。

5. 第1回中国大学科学技術成果交易会が開催

- 22日、「産学の垣根を越えて共に手を携え、イノベーションとウィンウィンを実現する」をテーマとした上記交易会が広州市で開催された。国内外300校の大学が約1万の科学技術プロジェクトの展示・取引を行い、約3000社が参加して産業・学術・研究のマッチング・協力を行なった。李玉妹・省人代主任、杜占元・教育部副部長、袁宝成・副省長が開幕式に出席。G・スムートUCバークレー物理学教授（2006年ノーベル物理学賞受賞）、中国科学院・中国工程院の院士10数人等が交易会に参加（6月23日付『南方日報』）。

6. 何忠友・副省長が在香港各国総領事代表団一行と会談

- 22日、何忠友・副省長が広州市で在香港各国総領事代表団一行と会談し、広東・香港・マカオ・ベイエリア建設を契機に、3地域と世界各国のつながりを強化していきたいと述べた（6月23日付『南方日報』）。

7. 胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が新疆ウイグル自治区を視察

- 21日～23日、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長率いる党・政府代表団が新疆ウイグル自治区カシュガル市を訪れ、ペアリング支援の進捗状況を視察。同自治区にかかる業務・支援に関する習近平・総書記の重要指示の精神を深く貫徹・実行し、第8陣となる支援業務に関する意見交換・マッチングを行なった。ショハマト・ザキル同自治区主席、孫金龍・新疆生産建設兵団政治委員も同行（6月24日付『南方日報』）。

8. 第1回中国イノベーション大会の開催

●24日、上記大会が広州市で開催され、胡春華・省党書記が開幕を宣言するとともに来賓と会談。李偉・國務院發展研究センター主任、王志剛・科学技術部副部長、馬興瑞・省長が開幕式に出席し挨拶を行なった。国の関連部門、省の指導者、国内外の世界トップ500企業の代表者、著名な専門家等1000人以上が出席し、中国のスマート科学技術とインターネットの技術革新、経済・投資・イノベーション、自動車スマート技術革新、文化産業や医薬・健康分野におけるイノベーション等について検討した。林少春・常務副省長が開幕式を主宰。曾益新・国家衛生・計画出産委員会副主任、任学鋒・広州市党書記、江凌・省党秘書長、温国輝・広州市長等が出席（6月25日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 国家スポーツ総局局長一行が広州市を視察

●18日、苟仲文・国家スポーツ総局局長一行が天河体育館、広州市民フィットネス・センター、広州国際卓球訓練センター等を訪れ、広州市が全面的に実行している全市民フィットネス国家戦略の進捗状況について視察（6月19日付『広州日報』）。

2. 医薬・健康分野の動向

●増城区では2013年から広州前海人壽病院の建設工事がスタートし、2018年6月に正式に営業が開始される予定。同区は衛生に強い区を作るという戦略を実施しており、同病院の建設、婦人・幼児保健院の移転建設、米UCLAヘルス広州国際健康センターの建設という3つの大きなプロジェクトが同時に進められている（6月19日付『広州日報』）。

●18日に広州市で開催された第19回中国ベンチャーキャピタル・フォーラムにおいて、中国医薬・健康産業の転換・高度化の新たな方途もテーマの1つとなった。中国の同産業はすでに4兆元市場に発展し、海外から医療技術を引き入れ、現在、国内ではこの分野への投資が新たなトレンドになっているが、特に医療改革、新薬の研究開発、「AI+医療」等が人々の注目を集めている。その一方で、華蓋資本有限責任公司創設者の許小林氏から、「AI+医療」に関してはこの趨勢を現実的なものとみなすことはできないため、投資には慎重であるべきとする意見も出された（6月20日付『深圳特区報』）。

●19日、国家食品・薬品監督管理総局（CFDA）は、中国がICHへ正式に参加したと発表。ICHは「医薬業界のWTO」と言われており、同メンバーは基準・ガイドラインの相互承認をコンセンサスとして遵守することによって、多くの輸出入にかかる再登録手続きが免除されるため、医薬品のイノベーションと発売を加速させることができる。袁林・CFDA国際協力局長は、このたびの加入は中国医薬業界の里程碑となる出来事であると述べた（6月22日付『南方週末』）。

※ICH（医薬品規制調和国際会議）：1990年設立。医薬品規制当局と製薬会社の代表者が規制ガイドラインを科学的かつ技術的な観点から作成する国際会議。実質的には日・米・EU間で新薬承認審査基準を統一するための会議。

●先頃、広州市發展改革委員会が作成した「広州市バイオ医薬産業發展5か年アクションプラン（2017年～2021年）」に対する意見公募が行われ、同市は世界的な影響力を備えたバイオ医療・健康産業の重要都市となり、2021年までに同分野の産業規模を5000億元にしていく予定。その牽引役として、全国最大の製薬会社である広薬集団は2020年までに製薬、医療、健康関連製品、健康サービス、商業・貿易・物流が一体となった世界レベルの医薬・健康産業コンプレックスとなり、世界トップ500企業を追い上げていくとした（6月23日付『広州日報』）。

3. 「一帯一路」沿線国税関・貿易円滑化ハイレベル・シンポジウムの開催

●19日、上記シンポジウムが開催され、イラン、エストニア、ウクライナ、モルドバ、ジョージア、アルメニア、ギリシャ、エジプト、ヨルダン、トルコ、シリア、イラク等から約60人の税関代表が出席し、税関・貿易の円滑化に関する経験を共有し、多国間協力について検討した。陳志英・常務副市長、謝松・広州税関署長が出席。2013年から「一帯一路」沿線諸国の166社が広州市に会社を設立しており、2016年の同市と沿線諸国の貿易総額は約2,161億元に達し、市全体の貿易総額の4分の1を占めている（6月20日付『南方日報』）。

4. 市指導幹部特別テーマ検討クラスがスタート

●20日午前、市指導幹部が第18期六中全会、広東省に対する習近平・総書記の重要指示、省党第12期代表大会の精神を学習・貫徹するための検討クラスがスタートした。任学鋒・市党書記が開講時に動員をかけ、陳建華・市人代主任、劉悦倫・市政協主席が出席。歐陽衛民・市党副書記が司会（6月21日付『広州日報』）。

5. 第6回中国（広州）国際金融交易・博覧会（金交会）が開幕

●23日午前、上記金交会が開催され、任学鋒・市党書記、陳雲賢・省政府党組織メンバーが開幕式に出席し、省・市の関連部門責任者と共に23の産業・金融マッチング・プロジェクトの署名に立ち会った（6月24日付『広州日報』）。

●24日午前、馬興瑞・省長が上記金交会を訪れ、銀行・金融市場、広州市・広東省の金融、証券ファンドの先物取引、保険等のブースを視察（6月25日付『広州日報』）。

6. GEバイオテクノロジーパークが着工

●23日、中国・シンガポール広州知識城でGEヘルスケアによる上記バイオテクノロジーパークの着工式が行われ、任学鋒・市党書記、何忠友・副省長、陳建華・市人代主任、劉悦倫・市政協主席が出席するとともに、そろって段小纓・GEグローバル副総裁兼中国総裁一行と会見（6月24日付『広州日報』）。

III. 深圳市

1. 香港返還20周年記念イベントの開催

●18日、「深圳と香港が手を携えて未来の夢を築く」と題し、両地域の青年が香港返還20周年を祝うイベントが行われた。300人以上の両地域の青年と来賓が深圳市に集まり、記念の植樹を行なった。董建華・全国政協副主席（元香港行政長官）が「深港同心慶回歸、幼苗成林興偉業」というイベントの題字をしたためた。戴北方・市政協主席、林潔・市統一戦線部長等が出席（6月19日付『深圳特区報』）。

2. 王偉中・市党書記がチベット支援を行なっている市幹部との座談会に出席

●20日晚、チベット自治区林芝市の視察団に参加している王偉中・市党書記が上記座談会に出席し、同自治区支援に携わっている市幹部を慰問するとともに、ペアリング支援の状況について聴取（6月22日付『深圳特区報』）。

3. 王偉中・市党書記が新疆ウイグル支援を行なっている市幹部との座談会に出席

●21日晚、新疆ウイグル自治区の視察団に参加している王偉中・市党書記が上記座談会に出席し、同自治区支援に携わっている市幹部を慰問（6月23日付『深圳特区報』）。

4. 第1回前海深圳・香港協力フォーラムの開催

●22日午前、上記フォーラムが開催され、深圳市と香港の政界・ビジネス界の著名な有識者約500人が出席。董建華・全国政協副主席が開幕の挨拶を行なった。仇鴻・中央政府在香港連絡弁公室副主任、徐沢・全国香港・マカオ研究会会長、張虎・常務副市長、馮国経・香港利豊集団董事局主席、羅康瑞・香港貿易発展局主席、岳毅然・中国銀行（香港）有限公司副董事長等が出席。杜鵬・前海管理局長が開幕式を主宰。前海深圳・香港現代サービス業協力エリアに登録している企業の付加価値額は2013年から2016年の3年間で約1.8倍（約50億元から約92.6億元へ増加、年平均成長率は約165%増）、税収は約3.5倍（約5億元から約18.5億元へ増加、同約229%増）、実際利用外資額は約1.4倍（約2.6億米ドルから約3.8億米ドルへ増加、同約144%増）となっている（6月23日付『深圳特区報』）。